

KiKiの広場

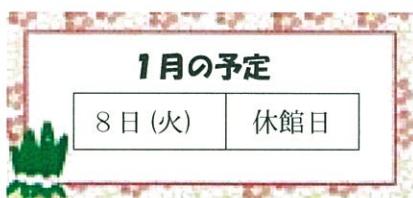
2013年 1月 7日

cafe NO.27
KiKi



あけましておめでとうございます！

今年は巳年、日常的には何かと嫌われ者のへびですが、岩国の白蛇のように縁起がいいとか、神様の使いだとか、へびにだっていいイメージはたくさんあります。何といっても脱皮をして成長するって、羨ましいというか何もかも脱ぎ捨てて出直すことができるって、いいなあって思います。でも人間はそうはいきません。今年は我が身に蓄積されたどんなものも糧として（思いたい！）、小さな脱皮を試みつつ、少しでも前進できるよう頑張りたいと思います。みなさま、本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



「今日のケーキ」…「かぼちゃの焼きケーキ」300円

バターをたっぷり使用した生地にかぼちゃを練り込み、かぼちゃスライスと甘く煮た小豆をトッピングした、手作り感あふれる素朴なケーキです。温かいケーキとしても美味しいだけます。



今月のお気に入り…「冬に読みたい・会いたい絵本」



～「ゆきむすめ」「かさじどう」「みるのくら」「アンナの赤いオーバー」「ゆうかんなアイリーン」などなど～

「おおきなかぶ」の内田莉莎子・佐藤忠良のコンビと、岸田衿子・スズキコージの2つの「ゆきむすめ」とけてなくなる雪のように切ないお話ですが、心の奥深く積もる雪のように、心の中にずっと残ります。どちらもすてきな絵本です。それぞれのゆきむすめに会ってみてください。



今月の本棚…「ヘビが出てくる絵本」



～「へびのクリクター」「へビのひみつ」「どいてよへびくん」「へびの子しどこ」「からすのかーさんへびたいじ」など～

どうひいき目に見ても、「かわいい」とは言い難いへびですが、「すてきな三にんぐみ」の作者トミー・ウンゲラーの「へびのクリクター」は、とってもおしゃれでかわいくて賢いんです。飼い主のボドさんに子どものように可愛がられ、町中から愛され尊敬されたクリクター。読み終わったらへびを飼いたくなるかもしれません。そして

「へビのひみつ」は、いろいろなものを丸呑みする様子など迫力満点の写真絵本です。へびの口があんなに大きくあくなんて、へびの目がウロコで覆われていてその目も脱皮するなんて、知っていましたか？へびが苦手な人にもぜひ読んでもらいたいです。好きになるかどうかはわかりませんが・・・



ほっこフレイク

魔女？…時々夕方1人で来られて、ゆっくり絵本を読んで帰られる若くてかわいい女性のお客さま。角野栄子さんの本も大好きだと言われて、「魔女からの手紙」などを手に取って読んでおられましたが、ふと顔を上げ、しみじみと私を見て、「なんかほんと魔女って感じですよね。」とにっこり。えっ？確かにその日着ていた服は黒だし年季の入った顔かもしれません、魔女みたいっていったい？う~ん、まあ「魔女とか好きなんです。」とも言っていたので、まっ、ほめ言葉ということで・・・(^_^;)



Uちゃん2世…9月に生まれたスタッフUちゃん2世のIくんが、初めてKiKiにやってきました。11月にお宅へお邪魔した時は、まだふにやふにや？でみんながおそるおそる抱っこしているって感じでしたが、今回は首もちょっとぴり座っていて抱きやすくなっていました。でもまだ何と言っても人間になって、3か月。手も足も何もかもちっちゃくって、もうもう「きゃー！かわいい～！！」です。つま先までのつなぎの服を着て、ぬいぐるみみたいなIくん、みんなの腕から腕に移動する間に眠ってしまいました。(♡大物の予感♡)きっと毎日いろいろな成長を、優しいイケメンパパときれいなUちゃんママに見せていくことでしょうね。次回会うのが楽しみです。今年は、ヒストリアの優しいおじいちゃんにも抱っこしてもらおうね。(*^*)v

